

# スクールコンサートへようこそ

視・聴覚障害者の生活支援を行う福祉事業の財団法人「日本テレビ系列愛の小鳩文化事業団」(1974年設立) テレビでは捉えきれない文化活動を行う財団法人「日本テレビ放送網文化事業団」(1976年)という、2つの法人が合併して現在の公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団が2012年4月に設立され、今年で10周年を迎えます。

今回のスクールコンサートは、その日本テレビ小鳩文化事業団の創立10周年記念事業として、企画主催するコンサートです。今年、富山、山形、京都、松山、沖縄の各地の視覚総合支援学校や盲学校に伺って行きます。

今日は、秋のひとつき、松山盲学校のみなさんに、映画音楽、ミュージカル、ジャズ、クラシックなどジャンルを超えて様々な音楽の名曲を楽しんでいただきたいと思います。

公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団 常務理事 柴田吉彦

## プログラム

1. 錨を上げて
2. 松山盲学校校歌
3. 馬小屋のブルース
4. フォスター・メドレー
5. 里の秋
6. アルハンブラの思い出
7. タイガーラグ
8. 夜空のトランペット
9. 世界は日の出を待っている
10. とんぼ(長渕剛)  
松山盲学校の先生、  
生徒との共演

## 花岡詠二 スキング・オールスターズ

HANAOKA EIJI

花岡 詠二

クラリネット、  
サクソフ & ピアノ



日本大学芸術学部音楽学科卒。我が国を代表するクラリネット・プレーヤー。クラリネットを大橋幸夫、北爪利世各氏に師事。在学中より自己のコンポを率いる。ベニー・グッドマンスタイルのスイング・コンボ「花岡詠二スキング・オールスターズ」をメインに、その他コンポからオーケストラまで様々なスタイルのグループを編成し、多彩な若手者振りを披露している。又、199

6年よりオランダのジャズ・フェスティバルに毎年招聘され、他ヨーロッパ各地、アメリカのフェスティバルにおいても好評を得ている。1986年6月13日に他界したベニー・グッドマンのメモリアル・コンサートを毎年6月に開催している。日本大学芸術学部講師を長年歴任。2021年「あらえびす」文化賞、「日本ジャズ大賞」をダブル受賞。\*あらえびす=野村胡堂の音楽評論家としてのペンネーム

KOMORI NOBUAKI

小森 信明

トランペット



コンセルヴァトワール尚美卒。卒業後、ディキシシー・キャッスルにてプロデビュー。現在は花岡詠二グループ他、各種ディキシシー、スイング・コンボ又オーケストラから貴重な奏者として声がかかりコンサート、ライブシーン等で活躍している。澄んだ音色、キャリー

のあるトーンがセールスポイント。ディキシシー、スイング派のホープ。一瞬表面からは見えぬ特異な裏技の持主であり、そのキャラクターは知る人ぞ知る、別な意味でのこれまたセールスポイントとなっている。

KARIKOMI HIROYUKI

苅込 博之

トロンボーン



松本ひろし、ルイス・キャンベルに師事。東京ディズニースタジオを経て、著名ビッグバンドを歴任しキャリアを積む。オーケストラそしてコンボと双方こなす実力派。自己の「ザ・ジョイフルプラス」の他、「花岡詠二グループ」、「ヘンリー矢板とカントリー・ランブラーズ」等でも活躍。コンコード・ジャズフェスティバル他、各国での公演も行っている。時折テレビのバラエティ番組にも顔を出している。

AOKI KEN

青木 研

バンジョー



日本を代表する天才的バンジョープレーヤー。幼少の頃、蓄音機やラジオから聴こえてくる古いジャズソングや古い日本のポピュラーソングに使用されていたバンジョーの音色にただならぬ関心を持ち、13歳の時初めてバンジョーを手にする。高校卒業後ディキシシー・

キャッスルに入団プロデビュー。その華麗なテクニックとステージで多くの人を魅了している。ディキシシー・キャッスルの他、花岡詠二グループに参加。ライブ、コンサート、テレビ、ラジオ等で活躍。国内外ジャズフェスティバルにも招聘されている。

KATO JIN

加藤 人

チューバ



日本大学芸術学部音楽学科卒。在学中はクラシックのチューバを専攻。卒業後、ジャズ界にも進出し、その後続々と輩出するディキシシーランド・ジャズ・チューバ奏者の先達的な役割を果たす。ディキシシー・キャッスルのレギュラーを経て、フリーと

なりウッド・ベースを青木高嗣に師事。現在は自己のグループそして花岡詠二グループ他あらゆるジャンルに於いて活躍中。

TAKEUCHI TAKESHI

竹内 武

ドラムス



高校時代吹奏楽部に所属。その間ジャズに興味を持ち、地元のコンポバンドでライブを経験。卒業後、ヤマハ音楽院にて研鑽を積む。2003年12月花岡詠二グループでプロデビュー。スイング・ドラムに傾倒し、ジーン・クルーバー、パディ・リッチ、そして特にルイ・ベルソンを深く信奉。その熱意が高じルイ・ベルソン本人に知遇を得る。ダブル・ベースドラムを駆使した奏法は往年のジョージ・川口を彷彿とさせるものがある。